

1 / 9日、10日、11日、16日、17日、23日、24日、30日、31日

新年、明けましておめでとうございます。
ますます激しく冷え込む今日このごろですが、年末年始のゆったりした時間を使って、星をご覧になりましたでしょうか。

サテ、今年**は丑年**。天体でウシと言えは**牡牛座**ですが、牡牛座の目印は、読んで字の如く、ウシの「目」に赤く輝くアルデバラン。肩のところにきらめくのは**プレアデス星団**。すばるです。

「冬のダイヤモンド」はアルデバランを含む**1等星**を6つ結んで出来上がります。せひ年始のうちにチェックしてみてください♪

コンパルホール 星空通信

2021年 1月号



- 1月4日未明しぶんぎ座流星群
- 1月10日水星と木星と土星が接近
- 1月12日月と金星が接近
- 1月14日月が水星と木星と土星に近づく
- 1月21日月が火星と天王星に近づく
- 1月22日火星が東矩
- 1月24日水星が東方最大離角
- 1月24日と29日土星と木星が相次いで合

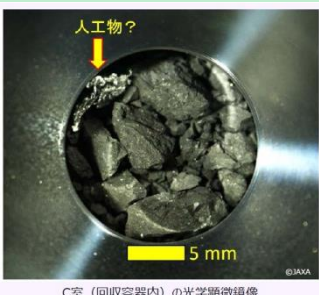
「はやぶさ2」特報！！

小惑星探査機「はやぶさ2」は2020年12月6日、多くの天体ファン・宇宙ファンが見守る中、小惑星「リュウグウ（162173 Ryugu）」で採取したサンプルを格納したカプセルを無事に地球へ帰還させることに成功しました！回収された「おみやげ」に注目が集まっていますが、詳細が【宇宙かわら版】でコンパルにも届けられましたので一部ご紹介いたします！

JAXAによると、「はやぶさ2」が持ち帰ったサンプルの総重量は約5.4gほどだったそうです。サンプルコンテナ内にはサンプルキャッチャーA・B・C室があり、それぞれ開封作業が進められています。特にC室で確認された粒子は大きく、最大で1cmほどもあったそうです！（図を参照）人工物と見られる物体はサンプル採取時に金属の弾丸を打ち込んだ際、サンダーホーンから分離したアルミ箔の可能性が高いとのこと。（金属の弾丸を打ち込むなんて、激しいですね。もっと、静かにカリカリと採取しているものかと思っていました。）

このサンプルを地球に届けたのち「はやぶさ2」は、次の拡張ミッションへと再出発。すばる望遠鏡によって「はやぶさ2」の拡張ミッションの目標天体「1998KY26」撮影が成功し、この天体の軌道要素の精度を向上させるために活用されるとのこと。

SFのような世界がいままに現在進行形で届けられる天文ニュース。いよいよ目が離せませんね！



「はやぶさ2」によって地球に届けられたリュウグウサンプル(C室の画像)

C室（回収容器内）の光学顕微鏡像

※参照：■「宇宙かわら版」（一財）日本宇宙フォーラム 広報普及事業部
■NAOJ ホームページ <https://www.nao.ac.jp/news/topics/2020/20201218-subaru.html>



屋上・天体観測ドーム

東経131度36分50秒、北緯33度13分55秒に位置するコンパルホール。屋上（7階）には、直径5メートルの電動回転式ドームがあります。最大倍率約275倍のニュートン式300ミリメートル反射式望遠鏡を1台、さらに、100ミリメートル屈折式望遠鏡4台を備えています。観望時には指導員が星空の解説をおこない、望遠鏡の操作説明もします。大分の街中に、ふらりと星を見にいりませんか？

今月の惑星情報

今月の惑星の動きをみてみましょう♪

水星は、日の入り後の西の低空に位置しています。**金星**は、見かけの位置が太陽に近く、観察は難しいでしょう。**火星**は宵の南から南西の空に見え、明るさはマイナス0.3等から0.4等となります。**木星**は見かけの位置が太陽に近く、観察には適していません。**土星**も同様、見かけの位置が太陽に近く観察には適さないでしょう。

★曇天時のお問い合わせ★

097-538-3700（コンパルホール）

